



青山学院

AOYAMAGAKUIN

ニュースリリース

NEWS RELEASE

2008年3月14日

報道機関各位

青山学院は、2008年4月より
交換留学生と初等部生から大学・大学院生が集い、外国語を通じて
異文化理解を深める「青山学院チャットルーム」を開室します。

学校法人青山学院(東京都渋谷区渋谷4-4-25 理事長 松澤 建)は、2008年4月、海外の大学協定校から受け入れの交換留学生をチャットリーダーとする青山学院の初等部、中等部、高等部、女子短期大学、大学および大学院の在校生が一堂に集い、外国語(当初は英語)によるコミュニケーションを通じて、国際交流をはかるための広場「青山学院チャットルーム」を開室します。

青山学院では、深町正信院長を委員長とする青山学院国際交流基金管理委員会の下に青山学院全学国際交流委員会を置き、2006年10月より、青山学院の特色である「英語」教育と、青山キャンパスに幼稚園から大学・大学院までを擁する特性を活かし、全学院的規模で英語を媒介とした国際コミュニケーション実現に向けて、「青山学院チャットルーム」の構想の検討がなされ、このたび、単なる語学習得の場所としてではなく、「外国語を通じた異文化理解と国際交流意識と活動の活性化」を目指した「青山学院チャットルーム」の開室が実現いたしました。

【青山学院チャットルームとは】

チャットとは気軽なおしゃべりのこと。利用者が気軽に立ち寄って、チャットに参加できる空間になることを目指しています。

運営方法

運営は、初等部から大学まで、各学校から選出される外国人教員を中心に、チャットルームのアクティビの企画やチャットリーダーの監督・指導を行います。

初級、中級、上級のレベル別グループに分かれています。利用者は、好きなレベルを自由に選べます。各レベルに合わせて、同一テーマについて内容に変化を持たせてチャットを行います。1セッション各レベル8名で行います。

初等部児童、中等部生徒向けに、ゲームをしたり歌を歌ったり、本の読み聞かせ(ストーリーテリング)のグループもあります。

開室について

期 間：2008年4月～7月、10月～12月、2009年1月

曜日・時間：月曜～金曜

40分を1セッションとして、1日6セッションを初級・中級・上級ごとに設定

場 所：間島記念館1階(青山キャンパス)

職員2名が常駐します。

*「青山学院チャットルーム」は4月に開室いたしますが、実質的な稼働は、交換留学生の履修登録が終了した4月下旬を予定しています。